

まえがき

名古屋大学宇宙地球環境研究所（以下、「本研究所」という。）は、宇宙科学と地球科学を結びつける国内唯一の全国共同利用・共同研究拠点として、地球・太陽・宇宙を一つのシステムとして捉え、そこに生起する多様な現象の解明し、地球環境問題の解決と宇宙に広がる人類社会の発展に貢献することをミッションに掲げ活動しています。

過去の地球・太陽・宇宙システムの現象や変動特性を明らかにすることは、近未来の変化予測の上でも必要不可欠であります。本研究所の年代測定研究部では、タンデトロン加速器質量分析法と CHIME（Chemical U-Th Total Pb Isochron Method）法を用い、「時間」あるいは「年代」をキーワードとして、人類を含む地球システムで生起する現象、太陽地球システムの相互作用の理解を目指した幅広い学際的な共同利用と共同研究を進めています。

本紀要「名古屋大学年代測定研究・第2号」には、平成29年度に本研究所は進めている共同利用・共同研究などの研究成果をとりまとめました。また、年代測定研究部は運用しているタンデトロン加速器質量分析装置・CHIME装置の現状と稼動状況、平成30年2月1日・2日に開催した「第30回年代測定研究シンポジウム」（講演要旨を収録）、平成29年度名古屋大学総長裁量経費地域貢献事「東海の地球環境史を学ぼう」について報告を収録しました。

宇宙地球環境研究所では、地球・太陽・宇宙を一つのシステムに生起する多様な現象の包括的な解明を目指し、本研究部が運用しているタンデトロン加速器質量分析装置（導入後20年以上経過）、CHIME装置（製造から30年以上経過）の更新を検討しています。現状では多様な研究課題すべてに対応することが困難ですが、年代測定法の高度化、新たな年代測定法の研究開発やその応用研究を進めています。新たな共同利用・共同研究の皆様からの提案をお待ちしております。

名古屋大学宇宙地球環境研究所・年代測定部